

2018 年度日本農業経済学会第 1 回理事会議事録

日時：2019 年 3 月 29 日（金）午後 6 時～午後 8 時

於：東京大学農学部 1 号館 2 階 第 10 講義室

出席者（敬称略）：

会長・副会長（5）

草苺仁（会長）、堀田和彦（総務担当副会長）、山本康貴（編集担当副会長）、南石晃明（企画担当副会長）、櫻井武司（国際担当副会長）

役付常務理事（11）

関根久子（学会賞・国内学術交流担当）、大石敦志（財務担当）、原田淳（財務担当）、角田毅（情報担当）、齋藤勝宏（和文誌担当）、福井清一（英文誌担当）、栗原伸一（企画担当）、木島陽子（国際担当）、中嶋康博（大会開催校担当）、草処基（会長補佐担当）、西川邦夫（総務担当）

理事（14）

黒瀧秀久（北海道）、窪田さと子（北海道）、井元智子（東北）、新田義修（東北）、伊丹一浩（関東）、大山利男（関東）、岡通太郎（関東）、高橋巖（関東）、高橋克也（関東）、山崎亮一（関東）、古澤慎一（北陸）、胡柏（四国）、新保輝幸（四国）、吉川好文（九州）

欠席（委任状提出者に下線）

平石学（北海道）、加藤衛拡（関東）、槇平龍宏（中部）、成耆政（中部）、酒井富夫（北陸）、多田稔（近畿）、中島亨（近畿）、足立芳宏（近畿）、藤本高志（近畿）、保永展利（中国）、井上憲一（中国）、大室健治（中国）、大呂興平（九州）

オブザーバー：草野栄一（次期総務担当常務理事）、齋藤哲治・諏訪（事務局・共立）

1. 開会に当たり、西川総務担当より定足数を満たし理事会が成立していることの宣言があった。会長挨拶の後、草苺会長を議長に選出した。
2. 企画担当の南石晃明副会長より、2019 年度大会のシンポジウム企画内容、及び個別報告の件数が報告された。また、2020 年度大会が東北大学で開催されること、2021 年度大会は茨城大学、2022 年度は龍谷大学を開催校の第 1 候補とすることが報告された。
3. 編集担当の山本康貴副会長より、学会誌に関連する諸事項について報告があった。投稿

採択状況についての紹介の後、『農業経済研究』『Japanese Journal of Agricultural Economics』の編集委員長、および編集委員の交代が報告された。

4. 情報担当の角田毅常務理事より、2018年度の情報公開の取り組みが報告された。『農業経済研究』計5巻分の論文が、J-STAGE上で公開されたことが報告された。また、『農業経済研究』第91巻第1号(6月号)より、会員のみを対象として次号発行と同時にJ-STAGEで早期公開を試行的に開始することが報告された。
5. 国際担当の櫻井武司副会長より、国際交流に関する取り組み状況が報告された。①2023年に日本で開催されるアジア農業経済学会について、2020年までに大会テーマと開催地を決定すること、②アジア農業経済学会日本大会開催のために、特別会計IIのうち最低1、400万円を別建てで会計の項目とすること、③国際委員会委員の追加と退任、④東京大学大会における国際シンポジウムの開催、⑤国際シンポジウムについては、日韓シンポジウムについては前回までの方式に戻すとともに、韓国以外の国々との交流も探ることが報告された。
6. 学会賞・国内学術交流担当の関根久子常務理事より、①日本農学会2019年度シンポジウムにおいて学会から講演者を派遣する予定であること、②農学教育推進委員会(JABEE)から退会すること、③日本学術会議報告(案)「農業経済学教育のあり方」への意見募集を本会HP上で行ったことが報告された。
7. 財務担当の大石敦志常務理事より、2018年度決算書の説明、及び監査報告の内容が報告された。また、①学会財政上の収支両面での改革の必要性が高まっていること、②会費納入率向上対策として大会開催期間中に会費納付窓口を設置することが報告された。
8. 草処基会長補佐常務理事より、①連携委員会の活動内容、②大会1日目のシンポジウムは、連携委員会、企画委員会、国際委員会との合同で開催されたことが紹介された。
9. 総務担当の堀田和彦副会長より、①2018年度の会議開催状況、②会員数動向、③退任および新任の総務担当関係の常務理事が報告された。また、関東地区理事会構成校から選出されていた総務担当常務理事のローテーションが一巡したため、対象校の拡大も含めて2020年度以降の選出方法を改めて検討することとした。
10. 草莉会長より、玉真之介会員が名誉会員として推薦され、承認された。
11. 草処会長補佐常務理事より、『農業経済学事典』編集事業の進捗状況について報告があ

った。

12. 大石財務担当より、2018年度決算（案）、及び2019年度予算（案）が示され、承認された。
13. 関根学会賞・国内学術交流担当より、JABEE退会に伴う「役員業務等に関する細則」の改正が報告され、承認された。
14. 草処会長補佐常務理事より、2019年度の会長指名理事候補者5名と監事候補者2名が報告され、承認された。
15. 学会賞の選考結果について報告があった。堀田副会長より、学術賞として①立川雅司会員による「遺伝子組換え作物をめぐる「共存」—EUにおける政策と言説—」（農林統計出版、2017年）、②寶劔久俊会員による「産業化する中国農業」（名古屋大学出版会、2017年）、奨励賞として大仲克俊会員「一般企業の農業参入の展開過程と現段階」（農林統計出版、2018年）が選ばれたことが報告され、承認された。山本副会長より学会誌賞について説明があり、林田光平会員による「牛乳需要の異質性と価格伝達—マイクロデータによる競争構造への接近—」（『農業経済研究』第90巻第2号掲載）が選ばれたことは報告され、承認された。
16. 全ての議事が終了し、閉会した。

以上。